



消防団員の魅力を伝える



地元の人みんなで力を合わせてする活動が上手くいった時に達成感を感じます。



外壁工事や屋根・雨どいの取付工事を行っています。

建築板金工 齋藤 宣泰さん 岡山県美咲町消防団

仕事柄、いつも地元にいるわけではないので、急な火事などの際も出られるときに出ているというのが正直なところ。後は、土日などに消防の行事がある時も可能な限り、参加しています。もちろん、大変な時もありますが、地元の仲間と力を合わせて一つの事を成し遂げることにやりがいと楽しさを感じています。



消防団の父のたくましい姿を見て、入団を決めました。

入団のきっかけは、子供ながらに消防団の父の姿を見て、大変そうだけど、とてもたくましいと思ったことです。そして、近所のお兄さんのような存在だった現在の団長さんも、いろいろな活動をしていて、たいへん立派な方だと大人になって改めて感じ、尊敬しています。わたしも、地域のために少しでもできることをやっていこうと思っています。

年齢や仕事も違う様々な仲間と活動を共にすることは新鮮な経験です。

団員の年齢は、上は50代から下は20歳まで、30も年が離れた様々なメンバーがいます。普段の仕事では、そこまで年の離れた仲間が集まることはありません。消防団に入らなければ、年齢や仕事も違う様々な人達が集まる場に参加することはなかったと思うので、その事自体も消防団に入団してよかったと感じています。

わたし
じつは
消防団員。



銀行員
瀬川 文香さん
長崎県南島原市消防団
女性消防団

女性消防団の頑張っている姿をもっとアピールしていきたいです。

普段は銀行員の私ですが、この町が大好きで消防団に入りました。みなさんも自分たちの住む町の安心安全のために活動してみませんか？仕事との両立に、不安もありましたが、入団してみたら、平日の夜や土日の休みの時で月2日程度なので、それほど難しくありませんでした。



大学3年
中村 淳さん
東京都目黒消防団
第7分団

大学生になるまで人前で何かをやることは避けるタイプでした。

消防団が集まる大会で、事前に多くの団員の方からアドバイスを頂きながら練習した結果、特に、自分がやりたかった応急処置の説明で優勝することができたのは、とてもうれしかったです。だから、日頃からの訓練も大事にしています。

